

E16 横浜横須賀道路 逗子IC利用再開について

1. 利用再開日

令和3年9月30日(木)

※のり面崩落概要

- ・ 発災日時：令和3年7月3日(土) 8時頃
- ・ 被災箇所：横浜横須賀道路 逗子IC
- ・ 崩落規模：延長40m×深さ4.5m×のり面40m(約7,000m³)

【位置図】



出典：国土地理院地図を加工

【被災状況】



2. 応急復旧工事内容

【応急復旧工図】

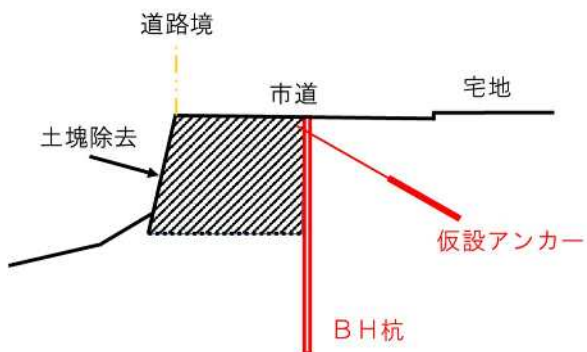


◆のり面上部の住民の安全確保及び生活への影響配慮

- ①崩落崖部のり面の表面保護のためモルタル吹付を実施



- ②崩落崖上部の住宅地の安全を確保し、土塊を除去するため土留めを実施



◆閉鎖解除後の逗子 IC 利用者の安全確保

③崩落土砂、不安定土塊の撤去

- ・崩落土砂、不安定な土塊の撤去にあたっては、伸縮計や地盤傾斜計などの計測機器を約 30 箇所に設置し変動の監視を行い住宅地および作業員の安全を確認しながら慎重に作業を実施
- ・急勾配なのり面に残った土塊等を撤去するためには、通常重機の足場を確保しながら作業を進めて行くが、作業の迅速性、安全性を高めるため、急勾配に対応し遠隔で操作可能な重機を使用し進捗を図った



④ランプを通行するお客さまの安全確保のため防護柵を設置



◆周辺住民への対応

- ・住民の方々へ工事内容等のチラシ配布 全6回
- ・住民の方々へのお知らせ看板等の設置
- ・住宅付近での作業を21時以降実施しない(夜間の騒音防止)
- ・住民の方からの苦情・問合せ用専用受付電話を京浜管理事務所に開設

3. 利用再開

応急復旧工事完了により、周辺住民及び利用者の安全が確保されたので、令和3年9月30日午前5時に閉鎖を解除し、逗子ICの利用を再開。

なお、引き続き復旧工事を進めているため、暫定的にランプの接続形態を変更しており、その復旧工事の車両の出入りもありますので、ご通行の際は、規制速度を遵守し、交通事故には十分お気をつけください。

